
ある卒業論文

ネコ茸

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ある卒業論文

【Nコード】

N3341F

【作者名】

ネコ茸

【あらすじ】

ある技術系の大学生が書いた卒業論文です。評価はあまり良くなかった様ですが……。

無線型サイコミュ兵器の為の基礎知識

ミノフスキー通信は無線型サイコミュ兵器（ビット、ファンネル等）への送受信に使われている技術である。

この技術を理解するにあたって、サイコウエーブとミノフスキー粒子の関係を知る必要がある。

現在ミノフスキー粒子が脳の思考波（サイコウエーブ）に容易に反応して光子や電子に干渉し、その現象が観測者の位置と観測現場との距離に係わりが無いと言う事が解っている。

原理は未だに解明されていないがここに利用価値を見出し、研究され始めたのがミノフスキー通信の起源だった。

初期の通信装置はミノフスキー粒子そのものを検出し信号を翻訳していた為に設備の大型化、それにかかる大電力を賄うため受信端末（ビット）は個別にジェネレータを必要として10m強のサイズと成り、結果高価な物になってしまった。

対して、アクシズで開発された方式（ファンネル）では、ミノフスキー粒子の発生に伴う光子、電子の消滅現象を検出して利用する事により、設備の大幅な小型化と省電力化に成功したのである。

また、端末機の位置情報のナビゲートをニュータイプの空間把握能力に委ね、本体機には送信機装置だけを、端末機には受信装置だけを装備する事に成り双方の小型軽量化がさらに進み現在に至っている。

実のところサイコミュ兵器は、いわゆるオールドタイプにも作動させることが出来るシステムである。

ではなぜニュータイプなのか？。

それは彼らの発する強力なサイコウエーブをマシン語へ翻訳する事が容易だった事と、彼らが高い空間認識能力を有していたからであ

る。

オールドタイプには端末機を動かさせたとしても1機が限度で、それも目標に向けて直線的に動かすのがやっとだったのである。

【コラム】

『シュレディンガーの猫』と言う旧世紀の「量子論」のための思考実験をご存知だろうか？。

その内容は、「目隠しされた密閉容器の内側に蓋を閉じた時にランダムに作動する毒ガス装置を仕掛けて、その中に生きた猫を入れた時、中の猫の生死はいつ決定するのか？」と言うものである。

これは当時の量子論学会が結論した『コペンハーゲン解釈』を批判するための物であった。

『コペンハーゲン解釈』とは、「光子や電子を観測した時に発見出来るかどうかは確率的であり観測者が観測を実行するまでは、そこに存在する状態と存在しない状態とが共存している。」という物である。

つまり“観測”が行われて初めて“結果”が“決定”すると言うものだった。

対してシュレディンガー氏は、「蓋を開ける（観測する）まで中の猫が生きた状態と死んだ状態とが共存するなどと言う馬鹿な事は起こらない。」と言う訳である。

ミノフスキー物理学が確立した現在では、光子や電子が確率的に検出されるのはミノフスキー粒子の干渉を受けているからだ、と言う事は周知の通りである。

しかし、検出されて然るべき状態にもかかわらず観測を始めた途端に検出結果が確率的になるのは何故か？、と言う疑問が残された。つまり、これがまさに“観測者”のサイコウエーブがミノフスキー粒子に干渉した結果だったのである。

以上でレポートを終わります。

評価：B+

理由：基礎としては解り易くまとめられているが、グリプス戦役時からの“強化人間”や、擬似サイコミュ兵器である“インコム”についての説明も記載して欲しいところであった。

評価官：O・マイ教授

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3341f/>

ある卒業論文

2010年10月9日21時02分発行